

研究で得られた成果を踏まえ、 α -CD 자체を健康素材として食品に活用することを提唱していく。これまでゲスト化合物の機能を十分発揮させる包接能力を前面に押し出し市場展開を進めてきたが、新たな役割を加え、需要の拡大を目指す。通常の難消化デキスト

シクロケムは、機能性糖質 α -シクロデキストリン(CD)の新たな市場を創出する。難消化性に着目した複数の科学的エビデンスと、食材加熱によるマイラード反応が起きず汎用性の高い加工適性の実証データが揃ったことから、複合機能を持つ「スーパー難消化デキストリン」を提唱。他社素材との差別化を図っていく。またマヌカヘルス・ニュージーランド社との戦略的連携により、口腔内細菌除去やピロリ菌対応の素材を開発し、抗菌サブリ向け市場に参入する。

抗菌サブリ向け参入

リンは粘性が高くて加工しにくいため、素材として整える際に低分子化しており、求められる作用がやや弱くなる。これに対し α -CDは粘性が低くそのまま利用できるため、整腸機能、血糖値上昇抑制、血中悪玉コレステロール値減少など高い生理活性が期待できる。

また食品加工での加熱工程においてもマイラード反応が起きず、食材本来の風味や色合いを損なわないというメリットを持つ。そこで同社では、生理活性機能と加工適性を兼ね備えた付加価値型のスーパー難消化デキストリンとして、健康素材市場で α -CDの新たなポジションを築く。

一方、マヌカヘルス社

シクロケム

α -CD 健康機能を前面に

ける特別なハチミツである「マヌカハニー」をケスト化合物に α -CDに包接した粉末素材「サイ

クロパワー」(マヌカヘルス社の商標)の事業を推進する。抗菌にかかる骨の健康維持用途で最新の研究では、マヌカコサナを通じマヌカヘルス社製サブリも販売する。このほか、更年期向

けの骨の健康維持用途でも攻勢をかける。通販子会社コサナを通じマヌカヘルス社製サブリも販売する。このほか、更年期向

生理活性優れ加工適性も

性成分メチオグリオキサールと α -CDに備わる抗菌力(溶菌力)とのシナジーが確認されており、低濃度摂取でも腸内細菌叢の改善とピロリ菌対策に効果があることが分かった。タブレットなどの素材として国内市場を開拓していく。通販子会社